

# 大阪産業大学経済論集

勝田政広 教授・林田治男 教授 退職記念

2018年3月

大阪産業大学学会





勝田政広教授近影



## 勝田政広教授 略歴・研究業績等

1949年5月 和歌山市生まれ

### 学 歴

- 1962年3月 和歌山市立宮小学校卒業  
1965年3月 和歌山大学学芸学部（現教育学部）附属中学校卒業  
1968年3月 大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎卒業  
1969年4月 和歌山大学経済学部入学  
1973年3月 和歌山大学経済学部経済学科卒業  
1973年4月 和歌山大学大学院経済学研究科修士課程入学  
1975年3月 和歌山大学大学院経済学研究科修士課程修了  
1975年4月 同上 研究生（1976年3月まで）  
1976年4月 神戸大学大学院経済学研究科研究生（1978年3月まで）  
2009年4月 京都大学大学院経済学研究科博士後期課程入学  
2012年3月 京都大学大学院経済学研究科博士後期課程学修認定退学

### 職 歴

- 1976年4月 大阪産業大学採用。同短期大学部配属。助手兼任学内講師  
経済学，工場経営論担当  
1978年4月 同上 専任講師  
1984年4月 同上 助教授  
経済学Ⅰ，経済学Ⅱ，管理工学，外国書購読担当  
1992年4月 大阪産業大学経済学部経済学科助教授  
経済学概論，情報処理論Ⅰ，演習担当  
1994年4月 大阪産業大学経済学部経済学科教授（現在に至る）  
起業家論，マルクス経済学，演習担当  
1996年4月 大阪産業大学経済学部経済学科主任（2000年3月まで）  
1996年4月 大阪産業大学協議会協議員（2010年3月まで）  
1998年4月 文部省教員組織審査において  
大阪産業大学大学院経済学研究科修士課程アジア地域経済専攻

- (経済理論特論担当) M合格判定
- 2000年4月 大阪産業大学経済学部長 (2002年3月まで)
- 2001年4月 文部省教員組織審査において  
大阪産業大学大学院経済学研究科修士課程現代経済システム専攻  
(経済理論特論担当) M<sup>Ⓔ</sup>合格判定
- 2002年4月 大阪産業大学入試センター長 (2004年3月まで)
- 2004年4月 大阪産業大学教務部長 (2008年3月まで)
- 2008年4月 大阪産業大学大学院経済学研究科現代経済システム専攻主任  
(2010年3月まで)

### 学会及び社会における活動

- 1973年9月 経済社会学会会員 (現在に至る)
- 1976年10月 理論計量経済学会 (現日本経済学会) 会員 (現在に至る)
- 1978年11月 経済学史学会会員 (現在に至る)
- 1978年11月 経済理論学会会員 (現在に至る)
- 1988年12月 日本オペレーションズリサーチ学会会員 (現在に至る)
- 2010年4月 経済理論学会事務局幹事 (2013年3月まで)
- 2003年4月 大阪府立大東高等学校 (現緑風館高等学校) 学校協議会座長  
(2006年3月まで)

### 業 績

- 勝田政広 「資本論の構造分析——文献データベースによる検討」青木書店, 1999年11月
- 他, 共著, 論文多数



林田治男教授近影





## 林田治男教授 略歴・研究業績等

### 略 歴

1949年10月 長崎県生まれ  
1968年3月 長崎県立島原高校卒業  
1973年3月 山口大学経済学部経済学科卒業  
1974年3月 山口大学経済学部専攻科修了  
1974年4月～1977年12月 センチュリー・リーシング・システム(株勤務)  
1980年3月 山口大学大学院経済学研究科修士課程修了  
1985年3月 京都大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得退学  
1985年4月 大阪産業大学経済学部設置準備室講師就任。  
1986年4月 大阪産業大学経済学部講師, 90年4月助教授, 96年4月教授就任, 現在に至る。  
1996年8月～1997年8月 英国ケムブリッジ大学留学

### 担当科目

#### 学 部

経済学概論（1年次担当）、経済学史（3・4年次担当）、近代経済学史（3・4年次担当）  
日本経済論（3・4年次担当）、企業経済論（3・4年次担当）、  
外国書購読（2年次担当）、基礎演習1（1年次担当）、基礎演習2（2年次担当）、  
演習1（3年次担当）、演習2（4年次担当）

### 大学院

近代経済学史特論

### 大学における役職

2003年4月～2006年3月 大阪産業大学学会常任委員長  
2012年4月～2014年3月 経済学部長  
2016年4月～2018年3月 総合図書館館長

### 非常勤講師

追手門学院大学（「マクロ経済学」「経済変動論」担当）

甲南大学（「経済理論史」担当）

関西学院大学（「ビジネス情報特論B」「英書購読」担当）

## 所属学会

経済学史学会（1984年加入）

日本経済学会（1981年「理論・計量経済学会」加入）

経済政策学会（1999年加入）

社会経済史学会（2006年加入）

鉄道史学会（2007年加入）

## 研究業績（いずれも単著）

### 1. 修士論文

「価格設定，利潤，投資に関する一研究」

### 2. 著書

「ケインズ革命の再評価」（利岡彰三・中尾訓生・板垣有記輔編『マルクス，ケインズ，新古典派 —現代の視角からの検討』第5章113～136頁，晃洋書房）1990年2月。

「マーシャルとケインズ」（井上琢智・坂口正志編『マーシャルと同時代の経済学』第5章120～137頁），1993年6月。

「ケインズ —経済学を変えた人」（橋本昭一・上宮正一郎編『近代経済学の群像』第7章155～187頁，有斐閣），1998年4月。

『日本の鉄道草創期 —明治初期における自主権確立の過程』ミネルヴァ書房，2009年11月。  
（鉄道史学会「住田奨励賞」単行本の部受賞，2010年11月）

「エドモンド・モレル」（小池滋・青木栄一・和久田康雄編『日本の鉄道をつくった人たち』第1章5～45頁，悠書館），2010年6月。

### 3. 研究論文など（研究ノート，研究資料を含む）

「ハロッドとロビンソンの成長論」『山口経済学雑誌』29巻3・4号，1979年5月。

「資本の限界効率，使用者費用についての一考察」『経済論叢』（京都大学）132巻3・4号，1983年9・10月。

「流動性選好，自己利子率に関する一考察」『大阪産業大学産業研究所所報』10号，1987年6月。

- 「『一般理論』の形成過程（1）—投資関数」『大阪産業大学論集 社会科学編』73号，1989年1月。
- 「ケインズの労働市場について」『大阪産業大学論集 社会科学編』75号，1989年7月。
- “The First Note on the Reexamination into the System of Keynes' General Theory”『大阪産業大学論集 社会科学編』78号，1990年4月。
- “On the Implication of the First Postulate in THE GENERAL THEORY”『大阪産業大学論集 社会科学編』82号，1991年3月。
- 「日本企業の姿—特に製造業を中心とした巨大企業」『大阪産業大学産業研究所所報』82号，1992年11月。
- 「企業者論の歴史的展開〔I 一般均衡論〕」『大阪産業大学論集 社会科学編』X号，1993年3月。
- 「『一般理論』における消費財市場について」『大阪産業大学論集 社会科学編』大学開学30周年記念，1996年3月。
- 「工場の地方進出について」『大阪産業大学論集 社会科学編』大学開学30周年記念，1996年3月。
- 「『一般理論』の資本・企業家について」〈研究ノート〉『大阪産業大学論集 社会科学編』104号，1997年2月。
- 「自動車部品取引の実態と経済的意味合い」『大阪産業大学論集 社会科学編』113号，1999年6月。
- 「サプライヤーの選定について」『大阪産業大学 産研叢書』11号，153～175頁，2000年3月。
- 「中核企業とサプライヤーの部品取引について I；現行モデルにおける価格変化を中心に」『大阪産業大学経済論集』1巻3号，2000年6月。
- 「中核企業とサプライヤーの部品取引について II；新モデル開発における価格設定・価格決定方式を中心に」『大阪産業大学経済論集』2巻2号，2001年2月。
- 「鉄道車両の設計・製造における鉄道会社とメーカーとの関係」『大阪産業大学経済論集』4巻3号，2003年6月。
- 「国鉄と車両メーカーの取引関係 I；電車をを中心に」『大阪産業大学経済論集』5巻1号，2003年10月。
- 「鉄道関連技術の習得：お雇い外国人の時代を中心に」〈研究ノート〉『大阪産業大学経済論集』5巻2号，2004年2月。
- 「鉄道草創期に貢献した英国人技術者の経歴」〈研究ノート〉『大阪産業大学経済論集』5巻3号，2004年6月。

「土木学会のステータスと英国人鉄道技術者の動機の考察」『大阪産業大学経済論集』6巻1号, 2004年10月。

「鉄道における日本側自主権の確立過程 III: オリエンタル銀行倒産まで」『大阪産業大学経済論集』6巻3号, 2005年6月。

「鉄道における日本側自主権の確立過程 I: レイ借款成立まで」『大阪産業大学経済論集』7巻1号, 2005年10月

「鉄道における日本側自主権の確立過程: レイ借款解約を中心に」『大阪産業大学経済論集』7巻2号, 2006年2月。

「鉄道技師: モレルの経歴と貢献」『大阪産業大学経済論集』7巻3号, 2006年6月。

「レイ契約の締結～解約関連資料 一裁判記録から」<研究資料>『大阪産業大学経済論集』8巻2号, 2007年2月。

「モレルの家系」『大阪産業大学経済論集』10巻2号, 2009年2月。

「モレルの経歴に関する諸説」『大阪産業大学経済論集』11巻1号, 2009年9月。

「モレルが軌間を決定した: 「ガレ会談説」の提唱」『大阪産業大学経済論集』11巻2号, 2010年1月。

「中村尚史先生の書評に答える」『大阪産業大学経済論集』12巻2号。

「モレルの実務経験: オーストラリアとニュージーランドを中心に」『大阪産業大学経済論集』12巻3号, 2011年6月。

「モレルの学業と土木学会入会」『大阪産業大学経済論集』13巻2号, 2012年3月。

「モレルのラブアンにおける実務経験」『大阪産業大学経済論集』14巻1号, 2013年2月。

「モレルの死」『大阪産業大学経済論集』14巻2号, 2013年3月。

「英国人鉄道技師の叙勲」『大阪産業大学経済論集』17巻1号, 2015年10月。

「技師と大学 一来日した英国人鉄道技師の大学教育」18巻1号, 2017年5月。

#### 4. 辞典執筆

「J.N. ケインズ」(経済学史学会編『経済思想史辞典』丸善, 114頁担当), 2000年6月。

「H.G. ジョンソン」(経済学史学会編『経済思想史辞典』丸善, 205頁担当), 2000年6月。

#### 学会発表

##### (1) 経済学史学会

「『一般理論』における投資関数の形成過程について」, 経済学史学会関西西部会105回例会, 大阪産業大学, 1987年9月。

『一般理論』における異質性の取扱いとその意義, 近代経済学史研究会, 2002年7月。  
「鉄道草創期における虚偽の会計報告」, 近代経済学史研究会, 2010年4月。  
「英国の19世紀を中心とした経歴調査方法の紹介」, 近代経済学史研究会, 2015年12月。

## (2) 経済政策学会

「鉄道車両の製造・設計における鉄道会社とメーカーとの関係」, 経済政策学会全国大会, 東洋大学, 2003年5月。

## (3) 社会経済史学会

「鉄道草創期の自主権確保の経緯 —レイ裁判記録を用いた再構成の試み」, 社会経済史学会第76回全国大会, 創価大学, 2007年5月。  
「初代鉄道技師長; モレルの技能形成について」, 社会経済史学会九州部会, 2008年1月。  
「鉄道草創期におけるレイの功績」, 社会経済史学会第77回全国大会, 広島大学, 2008年9月。  
「鉄道草創期における虚偽の会計報告」, 社会経済史学会九州部会, 九州大学, 2010年4月。

## (4) 鉄道史学会

「モレルの経歴と貢献」, 鉄道史学会第25回大会, 中京学院大学, 2007年11月。  
「レイ契約の成立過程—日英資料による再構成の試み」, 鉄道史学会例会, 吹田市立男女共同参画センター, 2008年3月。  
「レイ契約の破棄から示談へ」, 鉄道史学会第26回大会, 日本大学, 2008年11月。  
「英国人鉄道技師の経歴と貢献」, 鉄道史学会例会, 大阪産業大学サテライト教室, 2009年3月。  
「モレルの経歴に関する諸説の検討とその教訓」, 鉄道史学会例会, 立教大学, 2009年12月。  
『ガレ会談』の提唱: モレルが軌間を決定した」, 鉄道史学会第28回大会, 跡見学園女子大学, 2010年11月。  
「豪州, NZ, ラブアンにおけるモレルの実務経験」, 鉄道史学会第29回大会, 財団法人石川県女性センター, 2011年10月。  
「モレルの死」, 鉄道史学会第30回大会, 高崎経済大学, 2012年10月。  
「モレルの家族」, 鉄道史学会第31回大会, 熊本学園大学, 2013年10月。  
「日本における英国人技師の評価 —叙勲を中心に」, 鉄道史学会第33回大会, 近畿大学, 2015年10月。  
「技師と大学 —来日した英国人鉄道技師にみる19世紀中葉の大学教育」, 鉄道史学会第34

回大会，青山学院大学，2016年9月。

「英国人鉄道技師のビフォー & アフター」2018年1月，鉄道史学会例会，立教大学，2018年1月。

#### (5) その他の学会発表

「鉄道の初代技師長：モレルの経歴と貢献」，日本交通学会関西部会，2007年4月。

「日本の鉄道草創期—レイとの契約—破棄—示談」，日本交通学会関西部会，2010年11月。

“The Connection between Japan and Australia and New Zealand from the Viewpoint of Railway Engineers in 19th Century,” 18th Engineering Heritage Conference, New Castle, NSW, Australia, December, 2015.

#### (6) 講演

「鉄道草創期の英国人技師たち」，日本交通協会，2010年2月。

講演内容が『汎交通』111巻2号（2011年2月）に掲載されている。

「英国人鉄道技師の経歴と貢献」，設計工学会関西支部特別講演，大阪電気通信大学，2014年4月。

#### (7) 編集など

山本英太郎先生追悼実行委員会編『山本英太郎著作集』全3巻，東洋図書出版，1988年8月。

透閑会編『龍吟 高山泰巖和尚遺文集』正宗山洞春寺，2004年9月。

## 巻頭言

### —勝田政広教授・林田治男教授退職記念号の刊行に寄せて—

2017年度は経済学部にとって教員体制上大きな転機となる年度となった。勝田政広教授、林田治男教授の両先生が定年を迎えられ退職されるのである。これまで経済学部が様々な困難に直面しつつも順調に発展を遂げ、大阪産業大学を構成する1つの学部として全学的にも貢献することができたのは、勝田、林田両教授の並々ならぬ御尽力によるところが大きいということは、経済学部教員一同の一致した想いであろう。

そこで経済学部では、両先生の退職にあたり教員一同の感謝の意を表すため、『大阪産業大学経済論集』で両先生の退職記念号を編むことにした。『経済論集』担当委員韓福相教授による教授会での呼びかけに応じて様々な論文が寄稿され、今回の刊行に至ったものである。以下両先生への感謝を込めて50音順で献辞を書かせていただく。

勝田政広教授は、1971年4月、経済学および工場経営論担当の短期大学部助手兼学内講師として本学に赴任された。1973年4月に専任講師、1984年4月に助教授に昇任された。1992年4月、経済学部経済学科助教授として経済学部に移籍され、経済学概論および情報処理論を担当された。1994年4月には教授に昇任され、起業家論、マルクス経済学を講じられた。1996年4月から4年間にわたり経済学科主任を務められるとともに、本学協議会協議員にも就任され2010年3月まで長きにわたって尽力された。さらに2000年4月から2年間経済学部長、2002年4月から2年間入試センター長、2004年4月から4年間教務部長と、要職を歴任された。

研究面でも、経済社会学会、日本経済学会、経済学史学会、経済理論学会、日本オペレーションリサーチ学会などに所属され、多岐にわたる方面で活躍されてきた。なかでも経済理論学会においては、2013年3月まで事務局幹事を務められ学会の発展に尽力された。代表的な研究書として『資本論の構造分析—文献データベースによる検討』（青木書店、1999年）を刊行されたが、同著は経済学を学ぶ者が参照すべき重要書となっている。

林田治男教授は、1985年4月、経済学部設置準備室が開設されると同時に専任講師として着任し経済学部開設に尽力された創立メンバーの1人である。翌1986年4月に経済学部が発足すると、経済学概論、外国書購読を担当されたのを皮切りに、近代経済学史、経済学史、日本経済論、企業経済論など幅広い科目を担当され学部教育に貢献された。1990年4月に助教授に昇任、1996年4月には教授に昇任された。2003年4月から3年間、大阪産業大学学会常任委員長を務められ、本学の研究活動の活性化に尽力された。また2010年4月から2年間経済学科主任、2012年4月から2年間経済学部長、2016年4月から2年間総合図書館長を歴任された。その間、本学協議会協議員としても尽力された。

研究面では、鉄道史学会、社会経済史学会、日本経済学会などに所属され、多岐にわたる方面で活躍されてきたが、近年はとりわけ鉄道史分野におけるお雇い技師の伝記的研究に注力されてきた。その成果の一部として刊行された『日本の鉄道草創期—明治初期における自主権確立の過程—』（ミネルヴァ書房、2010年）は高い評価を受け、第1回鉄道史学会住田奨励賞を受賞され、鉄道史研究における新たな可能性を示された。

経済学部教員一同は、勝田、林田両教授の豊富な研究、教育、大学運営の御経験に基づいた惜しみない御指導・御助言を常々頂いてきた。心より御礼申し上げるとともに、今後の先生方の御活躍と御健康をお祈りするものである。

2018年3月

経済学部長 加藤 道也



# 目 次

## <研究論文>

- アイルランド総督府 1801年から1922年  
—アイルランド行政府の構造—  
..... 高 神 信 一..... (1)
- 植民地官僚のインド問題認識  
—吉村源太郎を手掛かりとして—  
..... 加 藤 道 也..... (25)
- 在宅医療と在宅介護の基盤整備の相関分析  
—「在宅医療にかかる地域別データ集」の検討—  
..... 齋 藤 立 滋..... (59)
- 現代組織社会における心理的問題に関する一考察  
—内観療法の実践結果を中心に—  
..... 王 勇 慷..... (73)

## <Contents>

### <Articles>

- Dublin Castle, 1801-1922  
: the structure of the Irish administration  
..... TAKAGAMI Shinichi ..... ( 1 )
- The Indian Problems Observed by a Government Official  
: The Views of YOSHIMURA Gentaro  
..... KATO Michiya ..... (25)
- Correlation Analysis of Home Medical Care Services and Home  
Nursing Care Services in Japan  
..... SAITO Ryuji ..... (59)
- A Study of Psychological Approaches in Modern Economy  
and Social Organizations :  
— A Case of Pertaining to Practices by the Naikan Therapy —  
..... WANG Yongkang ..... (73)